

信州上田 丸子夏期大学59年のあゆみ

<b>第1回 1963年(昭和38年)「日本経済(中小企業)をめぐる学習をどう進めるか」</b>			
①「日本経済の展望」	横浜国立大学教授	長洲 一二	
②「中小企業のあり方」	専修大学教授	中村秀一郎	
③「中小企業基本法解説」	通商産業省事務次官	松田 岩夫	
④「長野県の産業について」	信濃毎日新聞社論説委員	真鍋 信喜	
⑤「企業内教育について」	東洋大学教授	倉内 史郎	
⑥「中小企業の労働問題について」	労働評論家	那須野隆一	
	主事 お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
<b>第2回 1964年(昭和39年)「中小企業の現状をどうとらえるか—開放体制下生きる—」</b>			
①「開放体制下の日本経済」	横浜国立大学教授	長洲 一二	
②「中小企業の経営について」	丸子警報器(株)専務	塚田 正朋	
③「県下産業発展の問題点」	信濃毎日新聞社論説委員	鈴木 寿	
④「労働力不足と青年労働者の行方」	労働評論家	那須野隆一	
⑤「従業員の福利厚生と社会保障」	東洋大学教授	倉内 史郎	
⑥「中小企業・伸び行くもの、消えゆくもの」	専修大学教授	中村秀一郎	
	主事 お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
<b>第3回 1965年(昭和40年)「日本経済の未来像と景気対策—中小企業の生きるみち—」</b>			
①「日本経済社会の新ビジョン(現状と展望)」	横浜国立大学教授	長洲 一二	
②「流通革命と中小企業(小売経営)」	横浜国立大学教授	久保村隆祐	
③「当面の景気と金融財政政策」	日本銀行調査局次長	吉野 俊彦	
④「中小企業の協同化(中小企業の生きる道)」	専修大学教授	中村秀一郎	
⑤「私の企業経営」	スワロースキー(株)社長	丸山 哲三	
⑥「中小企業・伸び行くもの、消えゆくもの」	専修大学教授	中村秀一郎	
	主事 お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
<b>第4回 1966年(昭和41年)「日本経済と国民生活の諸問題を考えよう」</b>			
①「経済発展の中で教育はどう変わったか」	お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
②「流通革命と消費者心理」	流通問題研究会	佐々木土師二	
③「日本経済の中の農業政策」	東京農工大学教授	土谷 省三	
④「日本経済はどう変わるのか(日本経済の未来像)」	東京大学教授	安藤 良雄	
	主事 お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
<b>第5回 1967年(昭和42年)「経済の動きと地域の生活—くらしと経営の改善—」</b>			
①「地域開発と住民自治」	お茶の水女子大学教授	園田 恭一	
②「物価を考える」	東京外国語大学教授	伊藤 光晴	
③「これからの中小企業「経営の診断」」	専修大学教授	中村秀一郎	
④「これからの農業と農協合併」	東京農工大学	平井 正文	
⑤「地域の産業と教育」	お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
⑥「日本経済と地域の生活」	横浜国立大学教授	長洲 一二	
	主事 お茶の水女子大学教授	吉田 昇	
<b>第6回 1968年(昭和43年)「日本経済の未来像と景気対策—中小企業の生きるみち—」</b>			
①「日本人の考え(思想)と政治—民主主義の行方—」	東京大学教授	日高 六郎	
②「日本の近代化の中の封建制—古さと新しさについて—」	評論家	中島 健蔵	
③「日本の教育を考える—権利としての教育—」	毎日新聞社論説委員	村松 喬	
④「激動の世界をみる—戦争と平和について—」	NHK解説委員	平沢 和重	
<b>第7回 1969年(昭和44年)「1970年の日本を考える」</b>			
①「日本の思想と政治(民主主義と自治)」	評論家	羽仁 五郎	
②「1970年代の日本の労働問題—労働運動の方向と賃金—」	慶応義塾大学法学部長	峯村 光郎	
③「1970年の日本をめぐる国際情勢—日米安保をめぐる—」	NHK解説委員	村田為五郎	
④「日本の政治と国民意識—主権在民と国民不在の政治—」	東京大学教授	篠原 一	
<b>第8回 1970年(昭和45年)「70年日本の人間と社会を考える」</b>			
①「70年の日本の政治課題」	法政大学総長	中村 哲	
②「70年代の教育(義務教育を中心に)」	教育評論家	無着 成恭	
③「これからの教育(大学改革について)」	朝日新聞社論説委員	永井 道雄	
④「70年代の労働問題(労使関係)」	東京大学教授	氏原正治郎	
⑤「民主的な憲法秩序とは何か」	東京大学教授	小林 直樹	
<b>第9回 1971年(昭和46年)「激動の国の内外の姿を見る」</b>			
①「日本と中国(日中国交回復を求めて)」	日中国交回復国民会議議長	中島 健蔵	
②「これからの教育(中教審のねらいとするもの)」	和光大学学長	梅根 悟	
③「日本とアメリカ(日米関係と沖縄・アジアの道)」	東京大学教授	寺沢 一	
④「部落と人間(部落解放と人権の歴史をみる)」	作家(婦人問題評論家)	両沢 葉子	
<b>第10回 1972年(昭和47年)「激動の社会を生きる」</b>			
①「こどもと家庭(親でなければできない教育)」	評論家	品川 孝子	
②「環境と人間(公害をなくすために)」	東京都立公害研究所長	戎能 通孝	
③「地方自治と住民(地方自治を考え直す)」	成蹊大学教授	佐藤 竺	
④「世界のなかの日本経済(円問題と国民生活)」	横浜国立大学教授	宮崎 義一	

<b>第11回 1973年(昭和48年)「現実から未来への創造」</b>			
①「公害と日本(公害と住民闘争)」	東京大学助手	宇井 純	
②「日本の経済(大型スーパーの進出と中小商店)」	専修大学教授	中村秀一郎	
③「日本と中国(中国の文化について)」	和光大学教授	宮川 寅雄	
④「子どもと文化(子どもの幸せとは)」	映画監督(教育評論家)	羽仁 進	
<b>第12回 1974年(昭和49年)「日本のいまを考える」</b>			
①「日本のゆくえ」	朝日新聞社論説委員	永井 道雄	
②「日本経済と国民生活」	経済評論家	伊東 光晴	
③「現代家庭と母親像」	教育評論家	羽仁 説子	
④「憲法と国民」	東京大学教授	高柳 信一	
<b>第13回 1975年(昭和50年)「繁栄から福祉への転換期をさぐる」</b>			
①「国際婦人年と女性福祉」	日本女子大学教授	一番ヶ瀬康子	
②「これからの日本経済」	京都大学教授	宮崎 義一	
③「国際食糧問題と日本の農業」	農業総合研究所貿易研究室長	唯是 康彦	
④「くらしのこころ」	NHKアナウンサー	鈴木 健二	
<b>第14回 1976年(昭和51年)「今日的な社会問題の模索」</b>			
①「日本人のものの見方・考え方～農業史を中心にして～」	科学評論家	筑波 常治	
②「これからの日本経済～昨年以降の経過をみて～」	京都大学教授	宮崎 義一	
③「ロッキード疑獄と政局～「ロッキード」その本質と構造～」	NHK政治担当部長	飯島 博	
④「女性にとって仕事とは」	婦人問題評論家	樋口 恵子	
<b>第15回 1977年(昭和52年)「混迷からの脱出を求めて」</b>			
①「経済の動向と地方産業のゆくえ」	日本長期信用銀行調査部長	竹内 宏	
②「多党化時代の政治構造」	朝日新聞社政治部長	富森 叡児	
③「食糧問題の展望」	食品総合研究所研究室長	西丸 震哉	
④「これからの教育」	名古屋大学助教授	堀内 守	
<b>第16回 1978年(昭和53年)「信頼回復への出発」</b>			
①「もう一つの人生～これからの婦人の生き方をさぐる～」	婦人問題評論家	俵 萌子	
②「変わりゆく学歴社会と産業界」	法政大学教授	尾形 憲	
③「国際社会における日本経済の動向」	東京経済大学教授	富塚文太郎	
④「マスコミュニケーションと国民」	東京大学新聞研究所教授	稲葉三千男	
<b>第17回 1979年(昭和54年)「80年代にむかって」</b>			
①「地方の時代～日本文化と地方文化～」	信州大学人文学部教授	塚本 学	
②「80年代の世界経済と日本経済～石油問題と経済の動向～」	京都大学経済研究所教授	宮崎 義一	
③「青少年問題と家庭教育～あるべき父親・母親像～」	法務省赤城少年院長	倉科 茂	
④「国民と選挙～選挙を通じて国民の果たす役割～」	成蹊大学法学部教授	久保田きぬ子	
<b>第18回 1980年(昭和55年)「80年代の展望」</b>			
①「景気の現状と展望」	日本勧業角丸証券債権投資部長	宮沢 武夫	
②「現代女性の生き方」	婦人問題評論家	武田 京子	
③「国内政治の動向と国民意識」	朝日新聞社政治問題編集委員室編集委員	石川 真澄	
④「今日の教育と日本の将来」	大阪医科大学教授	川田 殖	
<b>第19回 1981年(昭和56年)「今、あらためて問うー主権・平和・自由ー」</b>			
①「アメリカの本音と日米外交の課題」	東京女子大学教授	猿谷 要	
②「国内経済の動向と国民生活の展望」	東京女子大学学長	隅谷三喜男	
③「きびしい国際環境下の日本経済」	京都大学経済研究所教授	宮崎 義一	
④「80年代の世界と日本の安全保障」	朝日新聞社編集委員	阪中 友久	
<b>第20回 1982年(昭和57年)「地域のくらし 日本の未来」 (丸子町制施行70周年記念・信州夏期大学開設20周年記念)</b>			
①シンポジウム～地域づくり21世紀への展望～			
京都大学経済研究所長	宮崎 義一	千葉大学教授	伊東 光晴
地域振興整備公団理事	丸山 英人	長野県知事	
		司会 NHKアナウンサー	高梨 英一
②「国民にとって行政改革とは何か」		千葉大学教授	伊東 光晴
③「核軍縮の現状と世界平和」		法政大学教授	袖井林二郎
④「ほんとうの教育とは」		和光学園校長、教育評論家	丸木 政臣
⑤「現代若者気質政治意識」		朝日新聞社編集委員	筑紫 哲也
⑥「これからの暮らし～高齢化社会と日本経済～」		経済評論家	高原須美子
<b>第21回 1983年(昭和58年)「新時代への蠕動をさぐる」</b>			
①「男女の役割について(性役割の固定化と流動化)」		評論家	富士谷あつ子
②「経済と社会と私たち(身近な経済学)」		医師	山本 太郎
③「技術革新とこれからの中小企業～迫られる経営の転換～」		専修大学教授	中村秀一郎
④「国民が選ぶ政治(選挙結果と政治の動向)」		朝日新聞社編集委員	石川 真澄
⑤「今、子どもが求めるもの～新しい子ども観の確立を目指して～」		子ども調査研究所長	高山 英男

<b>第22回 1984年(昭和59年)「人間の時代に向かってー高度情報化社会の光と影ー」</b>	
①シンポジウム～活力ある地域社会の創造をめざして～(まちづくり振興計画への提言)	金子 八郎 大野太郎一 高梨 英一
信州大学経済学部教授 平山 祐次 日経連常任理事、(株)シナノケンシ社長 (株)セントラルコンサルタント取締役 吉村 忠孝	丸子町長 NHK経済番組キャスター
②「賢い母親の条件～日本の教育を考える～」	作家 畑山 博
③「21世紀は警告する～大型企画番組を制作して～」	NHKスペシャル番組部チーフディレクター 吉田 直哉
④「高度情報化社会の光と影～高度技術革新は何をもたらすか～」	経済評論家 内橋 克人
⑤「人間にとって医学とは何か～医療の進歩と生命～」	医事評論家 水野 肇
<b>第23回 1985年(昭和60年)「新しい豊かさへの前進」</b>	
①「地域開発と交通問題～住民のくらしを高めるために～」	東京大学経済学部教授 岡野 幸秀
②「活力とゆとりの両立した社会とは…新幸福論～豊かさ幸せのかかわり合いをさぐる～」	名古屋大学経済学部教授 飯田 経夫
③「日本の将来と教育のめざすもの～臨教審答申にふれて～」	京都精華大学教授 日高 六郎
④「国連婦人の10年をふり返って…そして新たな都市に向かって…」	日本女子大学教授 一番ヶ瀬康子
<b>第24回 1986年(昭和61年)「人間社会の軌道をさぐる」</b>	
①「今後の政局をうらなう」～衆・参同日選挙示すもの～	朝日新聞社編集委員 石川 真澄
②「私たちのくらしと情報」～情報が商品化される時代、くらしの向上につながる情報をどう得るか～	青山学院大学法学部教授 清水 英夫
③「ことばと文化」～日本人の心を見つめる～	上智大学教授 金田一春彦
④「変革時代における“新しいふるさと”づくり」	東京女子大学教授 伊藤 善市
<b>第25回 1987年(昭和62年)「試練をのりこえる選択とは」</b>	
①「円高と日本経済」	東京経済大学教授 宮崎 義一
②「経済発展と日本の農業～国際経済の動きの中で～」	早稲田大学教授 西川 潤
③「青年は何を見つめる～青年の動きのなかに世相を見る～」	ノンフィクション作家 吉岡 忍
④「地域おこしの現状をどう見るか」	静岡県立大学教授 山崎 充
<b>第26回 1988年(昭和63年)「新たな生活・文化の創造」</b>	
①「内外の経済情勢と地域経済」	法政大学教授 力石 定一
②「21世紀の科学技術～超伝導などについてやさしく解説しながら科学技術の行方をさぐる～」	千葉大学名誉教授 井上 勝也
③「内外の政治情勢について～対立から調和へ～」	NHK解説委員室顧問 岡村 和夫
④「地域文化とまちづくり」	日本大学講師、(株)キャル・コーポレーション代表 望月 照彦
<b>第27回 1989年(平成元年)「変容する価値観ー新たなる規範を求めてー」</b>	
①「変貌する社会と家庭の行方～家族の絆、そして自立～」	評論家 樋口 恵子
②「今、日本人に求められているもの～逆転の発想～」	組織工学研究所長 糸川 英夫
③「日本経済の国際化と“ヒト”の国際化～製造業等における労働力不足が恒常化する中で、外国人労働者受け入れの是非を探る～」	千葉大学法経学部教授 手塚 和彰
④「90年代の政治・経済を展望する～国際協調と政治の再生～」	NHKワシントン特派員 春原秀一郎
<b>第28回 1990年(平成2年)「国際化社会に向けてー政治・経済・文化を通じてー」</b>	
①「家族、それぞれのしあわせ」	NHKアナウンサー 古屋 和雄
②「地域おこしは人づくりから」～地方の時代、文化の時代、そして地方の国際化の時代の丸子町の夢を語る～	筑波大学助教授 松田 義幸
③「豊かさとは何か」	埼玉大学教授 暉峻 淑子
④「いま、海外から学ぶもの」	市町村アカデミー教授、研修部長 阿部 孝夫
<b>第29回 1991年(平成3年)「文化のかおり高い地域づくりをめざして」</b>	
①「気象のものさし人生のものさし」	NHK解説委員、気象キャスター 倉島 厚
②「いま、女たちに問われていること～子育て、仕事、愛をつらぬくとき～」	女性史研究家 永畑 道子
③「地域らしさを活かすまちづくり～地域CI手法による地域の活性化～」	(株)コミュニティ&コミュニケーション 牧谷 孝則
④「町と住まいの接点をさぐる」	連合設計社、市ヶ谷建築事務所 吉田 桂二
<b>第30回 1992年(平成4年)「21世紀に向けた、地域文化の創造」</b>	
①「脳死と肝移植について」	信州大学医学部第1外科教室教授 幕内 雅敏
②「山下さんちの物語～女性問題入門編～」	講談師 宝井 琴桜
③「企業のカラーイメージ戦略は～個人の持つべきカラーとは～」	デザイナー、カラーアナリスト 岡 正子
④「ニュースを見る目～政局の動きよもやま話～」	政治評論家、前NHK解説委員 高橋 祥起
<b>第31回 1993年(平成5年)「21世紀に向けた、地域文化の創造」</b>	
①「当面の政治情勢」	信州大学経済学部教授 神田 禎之
②「地球の水を守ろう」	長野大学教授 佐藤 英美
③「木曾義仲の挙兵と京への進撃」	長野県文化財保護協会会長 黒坂 周平
④「愛、みつけた～本当の愛、本当の幸せって何だろう～」	フリーアナウンサー 小林 完吾
⑤「プラス思考の発想」	落語家 三遊亭歌之介

<b>第32回 1994年(平成6年)「感性豊かな人づくりを求めて～地球時代への構築～」</b>			
①「激変する内外政変」	政治評論家	多田 実	
②「自然の時間、人間の時間」	哲学者	内山 節	
③「マルチメディアってたとえばこんなもの」	(株)オーガスト社長	宮沢 毅	
④「最近の世界と日本の情勢」	朝日新聞社編集委員	和田 俊	
<b>第33回 1995年(平成7年)「混迷する社会の指針をさぐる～21世紀への選択～」</b>			
①「参議院選挙の結果とこれからの政治情勢」	フジテレビ報道局解説委員長	船田 宗男	
②「日本経済が直面している諸課題と問題点」	長野経済短期大学教授	押金 丈雄	
③「人間と動物の知恵くらべ」	鳥羽水族館館長	中村 幸昭	
④「21世紀への選択～混迷する社会の指針をさぐる～」	組織工学研究所所長	糸川 英夫	
<b>第34回 1996年(平成8年)「共に生きる豊かな社会をめざして～21世紀への選択～」</b>			
①「これからの政治情勢」	フジテレビ報道局解説委員長	船田 宗男	
②「戦後を生きた女性たち」	作家	一ノ瀬 綾	
③「ヨーロッパの通貨統合と日本」	NHK情報局国際部副部長	春原秀一郎	
④「歴史から学ぶ」	作家	井出 孫六	
<b>第35回 1997年(平成9年)「新たな人間社会の創造をめざして～21世紀への選択～」</b>			
①「ともに生きる社会」	NHK解説委員	迫田 朋子	
②「明日の天気は変えられないが、明日の政治は変えられる」	明治大学前学長、政治経済学部教授	岡野加穂留	
③「日本の過去を振りかえり、未来を考える～日本国憲法を死なせてはならない～」	前東京大学教授	日高 六郎	
④「日本経済の動向とこれからの中小企業～2010年をめざして企業経営の体質改革～」	大和銀行総合研究所上席経営コンサルタント	瀧頭 秀樹	
<b>第36回 1998年(平成10年)「混迷する社会・今、何をすべきか～明日を切り開く目～」</b>			
①「参議院選挙の結果とこれからの政治情勢」	フジテレビ報道局解説委員長	船田 宗男	
②「よい患者になるために」	NHK解説委員	迫田 朋子	
③「環境と景観～これからの心地よい暮らし」	エッセイスト、画家	玉村 豊男	
④「中小企業が21世紀に生き残る道」	帝国データバンク長野支店長	渋谷 司郎	
<b>第37回 1999年(平成11年)「今、私たちは何をすべきか～暮らしの中から考える～」</b>			
①「少子化の社会経済学～どうなる経済・年金・保険～」	東洋大学経済学部教授	松原 聡	
②「からだの健康・こころの健康」	漫画家	富永 一朗	
③「今日の政局と生活との関わり」	共同通信社編集委員	後藤 謙次	
④「これからの青少年教育」	文部省中央教育審議会委員	田村 哲夫	
<b>第38回 2000年(平成12年)「今、私たちは何をすべきか～新世紀に向かって～」</b>			
①「知性の時代～今こそ教育の原点に戻るとき～」	東京工業大学名誉教授、新潟県新発田市収入役	宮坂 啓象	
②「これからの日本経済と資産運用」	メルリリンチ日本証券(株)	田中久美子	
③「男女共同参画社会へのエンパワーメント」	市川房枝記念会常務理事	山口みつ子	
④「豊かな人間生活と緑環境」	(財)国際生態学センター研究所長、長野県自然保護研究所長	宮脇 昭	
<b>第39回 2001年(平成13年)「共に生きる、より良い社会をめざして～今、何をなすべきか～」</b>			
①「参議院選挙の結果と小泉政権のゆくえ」	(社)共同通信社編集委員	後藤 謙次	
②「生物の多様性を保全する」	長野県自然保護研究所研究員	須賀 丈	
③「共に豊かに」	NHK名古屋放送局チーフディレクター	大久保晋作	
④「経済景気の読み方」	日刊工業新聞社編集局次長	千野 俊猛	
<b>第40回 2002年(平成14年)「地方からの国づくり～目ざめよ地域・新たな社会～」</b> (丸子町制施行90周年記念)			
①「愛と化学は地球を救う」	淑徳大学教授	北野 大	
②「世界と日本の政治」	長野大学客員教授	松山 幸雄	
③「お笑いジェンダー論」	東京大学助教授	瀬地山 角	
④「家庭教育と人権～子どもの人権をどう守る～」	ジャーナリスト	大谷 昭宏	
⑤「世界の視点で考える日本経済の行方」	国際ビジネスコンサルタント	ジョージ・フィールズ	
<b>第41回 2003年(平成15年)「岐路に立つ21世紀の社会～今採るべき選択とは～」</b>			
①「子供との心のキャッチボール～感性豊かな子供に育てるために～」	明星大学教授	高橋 史朗	
②「正念場の日本経済の行方」	NHK解説委員	水城 武彦	
③「私たちのくらしから始めるエコロジー～環境問題は人間の問題?～」	環境コンサルタント	ペオ・エクベリ	
④「21世紀の国際社会と日本の針路」	早稲田大学大学院アジア・太平洋研究科教授	川村 亨夫	
<b>第42回 2004年(平成16年)「本当の豊かさとは何か」</b>			
①「現代の自然環境と社会環境を考える」	ノンフィクション作家	小林 照幸	
②「現代の子ども・内向する憤激～神戸から長崎へ子ども問題の道筋を辿る～」	日本女子大学教授	清永 賢二	
③「21世紀の世界～グローバリゼーションのゆくえ～」	国際問題ジャーナリスト	林 雄一郎	
④「日本経済の建て直し策」	(株)友生命総合研究所調査部上席主任研究員	霧島 和孝	

<b>第43回 2005年(平成17年)「これからの地域づくり～新たなる住民自治の方向をさぐる～」</b>		
①「市民・行政と協働によるまちづくり」	(財)地方自治総合研究所主任研究員	辻山 幸宣
②「分権時代の地域づくりー市町村合併と住民自治ー」	高崎経済大学地域政策学部専任講師	櫻井 常矢
③「高齢者参画型のまちづくりの実践」	まちづくりコーディネーター	叶内 路子
④「人間になれない子どもたち～“メディア漬け”と子どもの危機～」	NPO法人子どもとメディア代表理事	清川 輝基
<b>第44回 2006年(平成18年)「心豊かに生きる～現代社会の指針をさぐる～」</b> (新生「上田市」発足記念)		
①「ーこれからの社会はどなるー日本の政治情勢と政治改革」	日本大学法学部教授	岩井 奉信
②「世界最大の船『出光丸』造船の苦闘と挑戦」	元IHI(石川島播磨重工業)横浜工場技術部長	伊都 祥富
③「21世紀の日本経済を分析する」	経済評論家、キャスター	西村 晃
④「心の新芽がでたよー育ちあい、気づきあう親子・家族・人と人ー」	子ども家庭教育フォーラムチーフ・カウンセラー	荻野ゆう子
<b>第45回 2007年(平成19年)「私たちの社会、私たちの地域を考える～地域課題の観点から～」</b> (新生「上田市」発足1周年記念)		
①「自然からのメッセージ～動物の目から見た環境問題～」	自然界の報道写真家	宮崎 学
②「子どもの心と体を育むために」	アナウンサー、エッセイスト	村松真貴子
③「ゆったり湯学ー地域に活かす!温泉の力」	金沢大学理学部教授	田崎 和江
④「どなる日本の政治と経済」	読売新聞社特別編集委員	橋本 五郎
<b>第46回 2008年(平成20年)「混迷する社会、私たちはどう生きるか」</b>		
①「日本の「食の安全」を考える」	食生活ジャーナリストの会代表幹事	佐藤 達夫
②「地域の物語をつむぐデザイナーー大石橋からりんどう橋へー」	早稲田大学創造理工学部教授	佐々木 葉
③「政局と今後の日本経済の見通し」	テレビ朝日コメンテーター	三反園 訓
④「インターネット時代の教育と子育て ～激変する子ども達の情報環境～」	郡馬大学特任教授、青少年メディア研究協会理事長	下田 博次
<b>第47回 2009年(平成21年)「岐路に立つ現代社会～今を乗り越える一歩を探る～」</b> (新生「上田市」発足3周年記念)		
①「菌磨き感覚・引退なし・補欠ゼロのスポーツライフー“ゆたかな暮らし”のためにー」	筑波大学附属高等学校保健体育科教諭	中塚 義実
②「国の財政の現状及び長野県内の経済情勢について」	財務省関東財務局長野財務事務所長	飯島 仁一
③「日本経済の長期展望～経済効果の変化～」	獨協大学教授、経済アナリスト	森永 卓郎
④「流動化する日本政治の行方」	政治アナリスト	伊藤 惇夫
⑤「漢字のデザインで脳を活性化」(丸子文化協会主催)	ヴィジュアルデザイナー、東北芸術工科大学名誉教授	馬場 雄二
<b>第48回 2010年(平成22年)「2010年代をどう生きるか」</b>		
①「福澤諭吉と丸子」	日本学術振興会特別研究員、慶應義塾福澤研究センター研究嘱託	石井寿美世
②「必聴!必(体)験!「篠原流 活脳トレーニング」～脳の活性化と結びつけた健康づくり～」	(丸子文化協会主催)	
	諏訪東京理科大学共通教育センター主任・教授、東京理科大学総合研究機構併任教授	篠原 菊紀
③「世界の中の日本ーどなるこれからの国際情勢ー」	元内閣安全保障室長	佐々 淳行
④「家庭から考える、地球環境とこれからのエネルギー」	国際問題評論家	小関 哲哉
⑤「美術の本物と偽物ー琳派の工芸・鑑定学は成立するかー」	永青文庫館長	竹内 順一
<b>第49回 2011年(平成23年)「この国のゆくえを考える」(新生上田市5周年記念)</b>		
①「2011年、私たちの生活はど変わるのか」	経済ジャーナリスト、経済政策シンクタンクハーベイロード・ジャパン副代表	内田 裕子
②「「100人村」が問いかけるもの」(丸子文化協会主催)	作家・翻訳家	池田香代子
③「「不安な時代」をど生きるか」	信濃毎日新聞社主筆	中馬 清福
④「2011年激動の政局～政治が与える経済への影響～」	名古屋外国語大学・大学院教授、早稲田大学講師	高瀬 淳一
⑤「～福島原発事故をきっかけに～エネルギーの未来を考える」	未来バンク事業組合理事長	田中 優
<b>第50回 2012年(平成24年)「未来への可能性を探る」</b>		
①「有権者が政治を変える」	毎日新聞社論説委員	与良 正男
②「日本人が豊かになる経済学」	獨協大学教授、経済アナリスト	森永 卓郎
③「自分の健康は自分で～効果的なトレーニング方法とは～」	松本大学スポーツ健康学科専任講師	田邊 愛子
④「関ヶ原合戦・大坂の陣と真田幸村」	静岡大学名誉教授、文学博士	小和田哲男
⑤「絵手紙に夢のせて～心のふるさと栄村をかく～」(丸子文化協会主催)	絵手紙作家	山路 智恵
<b>第51回 2013年(平成25年)「これからの地域を考える」</b>		
①「木曾義仲と巴御前」	講談師	宝井 琴嶺
②「参院選後の政治展望ーアベノミクスと今後の政局」	日本経済新聞社論説委員長	芹川 洋一
③「世界経済と金融市場の動向」	信州大学経済学部教授	真壁 昭夫
④「日本一の長寿ごはん」	料理研究家	横山タカ子
⑤「認知症になった波平」(丸子文化協会主催)	日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員	渡辺 哲雄

<b>第52回 2014年(平成26年)「魅力ある地域づくりを推進する」</b>	
①「報道マンが語る～政権の行方と日本経済の展望」	TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長 杉尾 秀哉
②「病まないカラダをつくる腸健康法～免疫力を高める生活習慣」(丸子文化協会主催)	東京医科歯科大学名誉教授 藤田 紘一郎
③「真田幸村の生涯」	講談師 神田 山吹
④「目からうろこの天気予報」	気象予報士・防災士 南 利幸
⑤「難問・珍問 子どもたちからのメッセージ」	フリーアナウンサー 平野 市子
<b>第53回 2015年(平成27年)「情報氾濫時代を生きる」</b>	
①「後悔しない治療のために～伝え上手な患者になる～」(丸子文化協会主催)	医学博士 平松 類
②「はやぶさの軌跡～21世紀を担う技術者の夢」	宇宙航空開発研究機構JAXA名誉教授 的川 泰宣
③「食で変えませんか 心と体を健康に～子どもはかしこく、大人は長生きを」	教育アドバイザー、食育アドバイザー 大塚 貢
④「舞台裏から見た政治経済～日本再生のために何が必要か」	経済ジャーナリスト 須田慎一郎
⑤「戦後70年 日本の平和から地方創生へ」	信濃毎日新聞社論説主幹 丸山 貢一
<b>第54回 2016年(平成28年)「歴史から未来を紡ぐ」 上田市合併10周年記念事業</b>	
①「認知症の取材と認知症の母を通して思うこと」	信濃毎日新聞編集委員 飯島 裕一
②「若者のパワーと共に歩む地域づくり」	タレント、歌手、長野大学福祉学部客員教授 三四六
③「テレビでは教えてくれない『食品表示』のうそ?ホント!」(丸子文化協会主催)	消費者問題研究所代表、食品問題評論家 垣田 達哉
④「信州長野は日本の3つのお宝の一つ、そのミッションで郷(クニ)づくりをお奨めします」	カルビー(株)相談役、「日本で最も美しい村」連合副会長 松尾 雅彦
⑤「今後の日本の政治経済について～地方経済の動向～」	法政大学法学部教授、ジャーナリスト 萩谷 順
<b>第55回 2017年(平成29年)「キラリと輝く地域のために」</b>	
①「地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵」	フリーキャスター、事業創造大学院大学 客員教授 伊藤 聡子
②「寝たきを半分に減らすために」	長野市国保大岡診療所所長 内場 廉
③「野球を通じての人生」	元読売ジャイアンツ選手、野球解説者 松本 匡史
④「木曾義仲と手塚光盛 ～手塚治虫が描いた源平武者」	ヴィジュアリスト 手塚 眞
⑤「『健康地域』暮らし作り伝える秘伝」(丸子文化協会主催)	一般社団法人 健康福祉広域支援協会代表理事 中村 崇
<b>第56回 2018年(平成30年)「心豊かに生きる～より良い社会をめざして～」</b>	
①「激動の日本経済これからどうなる?」	ジャーナリスト 長谷川幸洋
②「日本橋高島屋コンシェルジュに学ぶ「人の心を動かす『気遣い力』」(丸子文化協会主催)	(株)高島屋日本橋店総務部顧客グループ担当部長 敷田 正法
③「歴史で地域活性化～日本を元気に～」	歴史プロデューサー 六龍堂 早川 知佐
④「賞味期限のウソと食品ロス」	食品ロス問題専門家、ジャーナリスト、消費生活アドバイザー 井出 留美
⑤「“協働”から“共創”の地域づくりへ～人がつながる映画づくり「みしまびとプロジェクト」～」	(丸子まちづくり会議主催) 一般財団法人地域活性化センタークリエイティブ事業室 担当課長 小嶋 敦夫
<b>第57回 2019年(令和元年)「ふれあい共に生きる～輝く地域をめざして～」</b>	
①「地元を創り直す時代一長続きする地域の主人公は住民」(丸子まちづくり会議主催)	一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩
②「激動の2019年をどう生き抜くか～中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟～」	外交ジャーナリスト・作家 手島 龍一
③「シリア人質事件の真相と戦争取材の意義」	ジャーナリスト 安田 純平
④「主婦から南極観測隊に～環境と食について～」	南極調理隊員 綿貫 淳子
⑤「今、信州の遺跡がおもしろい～人骨、黒曜石が語る信州の歴史～」	長野県埋蔵文化財センター調査指導員 大竹 憲昭
<b>第58回 2020年(令和2年)</b>	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
<b>第59回 2021年(令和3年)「交流と連携～魅力ある地域の再生をめざして～」</b>	
①「脳を鍛える活脳トレーニング」	公立諏訪東京理科大学教授 篠原 菊紀
②「女性の視点を生かしたまちづくりー豊島区“としまF1会議”の挑戦ー」	立教大学社会学部/大学院21世紀社会デザイン研究科・教授 萩原 なつ子
③「戦国の中央舞台で光彩を放った『依田氏』」	元小中学校校長 市村 到
④「Afterコロナ・Withコロナで、世の中がどのように変革するのか」	富士通株式会社理事首席エバンジェリスト 中山 五輪男
⑤「健康寿命延伸の最終目標:「生きがい」の創出に向けて」	松本大学学長・前松本市長 菅谷 昭

(敬称略)